

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

株式会社ナガイエは持続可能な開発目標(SDGs)の趣旨に賛同し、養豚・食肉加工を通じて“未来の食のために”をモットーに、「食の安全安心」・「従業員が誇りをもって生き活きと働ける職場環境」・「次の世代へ技術をつないでいく会社」を目指します。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	・養豚×飼料米・子実コーン生産にて耕作連携を行い、地域の耕作放棄地の減少、地域農業の活性化を行う。	耕作地2026年度20%増加(2023年度比)
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	・地元雇用、若者の積極雇用 ・インターンシップの受入	・採用人数 2023年度2人→2026年度 3人 ・インターンシップ受入人数 2023年度3人/年→2026年度4人/年
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	・働きがいのある職場づくり ・業界団体、飼料メーカー、薬品メーカーと共同で定期的に勉強会を実施	残業時間0の継続 2023年度8時間→2026年度0時間 勉強会回数 2023年度2回/年→2026年度3回

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。**(例:採用の人数:2023年○人→2026年○人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

当社は、飼料メーカー、業界団体、お客様とのパートナーシップを大切にし「飼料生産から肥育、消費の地産地消」に拘ることにより、更なる地域の発展、持続可能な社会へ貢献します。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	・飼料米用の耕作放棄地の面積拡大 ・外部からの残さの受入量	50%増加(2023年) 900t(‘20年度)⇒1,000t(‘23年度)
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	・飼料用米耕作面積を2haから4haへ拡大 ・食物残渣受け入れ1,000t受入達成	・面積拡大については達成 ・残渣受入は1,100t(‘21年度)達成
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	・地元雇用、若者の積極雇用 ・インターンシップの受入	採用人数2人(2023年) 受入人数7人/年
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	・ハローワーク等により‘22年度‘23年度に2名を確保 ・熊本農業高校から約3名/年の受入	2023年度は採用人数の目標は達成。インターンシップの受入は未達成
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	・働きがいのある職場づくり ・業界団体、飼料メーカー、薬品メーカーと共同で定期的に勉強会を実施	残業時間0の継続 勉強会回数2回/年
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	引き続き残業0をできるよう人材の確保、派遣会社への依頼を行っている。 勉強会については定期的に行っている。	人手不足のため残業0は未達成 毎年の勉強会回数2回/年は達成

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する**実績を数値を用いて記載してください。**